

わくわくひろば

やまなし幼児教育センター 2023年8月発行 NO.2



絵本の読み聞かせ

絵本の読み聞かせをしてあげたい
んだけども・・・。



1

とても素敵なことです。シンプルにお子さんと一緒に絵本を楽しんでください。子どもたちは、お父さん、お母さんの声が大好きです。一番身近な声で、スキンシップを取りながら読んでください。



2

読んでる私も
楽しいわ(^^)

楽しい!



楽しい♪
もっともっと!

3

まだ字が読めなくても、子どもたちは絵を読みます。読めない時こそ、お話をよく聞きます。家族の会話を楽しんでいると、絵本の世界も広がります。一緒に絵本を楽しむのも日常を楽しんでいるからです。



4

読み聞かせの効果って? ..

絵本専門士 長澤麻理さん
に聞いてみた!

絵本を読むことは、子どもと大人の両方にとって、その時間そのものが喜びの時間です。絵本から得られた喜びが、子どもを未来に導く可能性もあるのです。

☐ 豊かな感情

読み聞かせをする大人と一緒に、喜んだり、悲しんだり、楽しんだりすることで、いろんな感情を学びます。

☐ 豊かな想像力

登場人物になりきり、想像の世界を自由に楽しみます。

☐ 豊かな語彙力

色々な言葉に触れ、意味を知り、使うようになります。また、言葉の音やリズム、繰り返しの面白さなどにも気付きます。

☐ 最高のコミュニケーション

子どもとの距離が近いはず。この距離はスキンシップになり、子どもに安心感を与えます。



*絵本専門士とは…絵本に関する知識・読み聞かせの高い技術などを備えた、資格を持った専門家のことです。

いつ頃から絵本の読み聞かせを 始めればいいのか？

何歳からがいいという**明確なスタート時期はありません。**

無理に急がなくて大丈夫です。ご自身の時間に余裕がある時に、チャレンジしてみましょう。絵本を読むより、家族とふれあう方が大切です。そのふれあいの先に絵本が待っています。

どんな絵本を選べばいいのか？

大切なのは、読み手が好きな本であること。周りが良い本と言っている、読み手の気持ちは、声に乗って伝わります。悩む場合は、スキップをしやすいわらべうたの絵本や、繰り返しのおはなしがおすすめです。

絵本選びのポイント！

0歳児～1歳児

- ・言葉のリズムや音が楽しい絵本
- ・はっきりした色使い、シンプルで分かりやすい絵のもの

1歳児～2歳児

- ・身近な物、子どもが知っている物が出てくる絵本
- ・絵と文がぴったりと合ったもの
- ・口にするのが楽しくなる言葉を使っているもの

2歳児～5歳児

- ・同じような展開が繰り返される内容のもの
- ・言葉の響きやリズム・韻などの面白さが味わえるもの

5歳児以上

- ・本格的な読書の入り口として、少し長めの物語
- ・絵本の中に入り込めるような内容のもの
- ・言葉遊びや早口言葉などを題材にしたもの（一緒に楽しめる）

もっと聞きたいQ&A

Q どんな姿勢で読んであげるのがいい？

A 特にこうでなければいけないということはありません。しかし、子どもと絵本を共有し合うのであれば、**膝の上や隣に座らせて**（同じ方向を向く）読み聞かせるのも良いかもしれません。絵本ばかりを見るのではなく、お子さんの様子や目線を合わせて会話も楽しんでください。



Q 1日のうちでいつ読むのがいい？

A 読むタイミングは、**親子でゆっくりと、心地良く読み聞かせを楽しめるなら、時間帯はいつでも構いません。**

寝る前、ご飯の後、歯磨き中など、家族の時間に無理がなく、お子さんが望んでいる時であれば、どうぞ読んでください。

兄弟姉妹がいる場合、一緒に読むこともできますが、本を選ぶお子さんを交互にしたり、時間を変えたりすることもできると良いですね。自分のために読んでもらえる喜びは特別です。いつも弟、妹に譲っているお兄ちゃん、お姉ちゃんだからこそ、選んだ本をほめてあげて、たっぷり愛情を込めて読んであげたいですね。

やまなし幼児教育センター

「やまなし幼児教育センター」は、県内すべての子どもたちの健やかな成長を願い、山梨の幼児教育の質を充実・向上させるため、主に幼児教育に携わる先生や小学校の先生を対象に研修を行っています。また、幼児教育に関わる内容の調査・研究を行っています。

保護者の皆様には、「わくわくひろば」を通じて、幼児教育について発信していきます。

甲府市武田4-4-37（山梨大学J号館内）

TEL 055-220-8143

